

第 40 回高分子学会北海道支部研究発表会, 2006 年 1 月, 札幌

¹⁾北海道大学大学院理学研究科

○ニコチンは記憶喪失性貝毒ドウモイ酸によるマウスの短期記憶障害を改善する

上野健一, 小川 廣, 澤田幸治, 富樫廣子¹⁾

第 79 回日本薬理学会年会, 2006 年 3 月, 横浜

¹⁾北海道医療大学薬学部

微生物部

○腎臓における銅の蓄積と DNA 損傷の生成に対するトリエンチン処理効果

林 正信¹⁾, 宮根和弘¹⁾, 妹尾みさと¹⁾, 遠藤大二¹⁾, 中山憲司, 奥井登代

第 9 回ウイルソン病研究会学術集会, 2005 年 5 月, 東京

¹⁾酪農学園大学獣医学部

○ラット細胞における DNA の 2 本鎖切断修復における microhomology-mediated end-joining

林 正信¹⁾, 赤木倫子¹⁾, 遠藤大二¹⁾, 奥井登代

第 15 回 LEC ラット研究会大会, 2005 年 5 月, 東京

¹⁾酪農学園大学獣医学部

○LEC ラット腎臓における銅の蓄積と DNA 損傷生成に対するトリエンチン処理効果

林 正信¹⁾, 宮根和弘¹⁾, 遠藤大二¹⁾, 永幡 肇¹⁾, 中山憲司, 奥井登代

第 52 回日本実験動物学会総会, 2005 年 5 月, 東京

¹⁾酪農学園大学獣医学部

○Generalized Detoxification Associated with Engraftment of Gene-corrected Repopulating Cells Achieved in ADA-SCID Patients by Stem Cell Gene Therapy without Myeloablative Pre-conditioning

Makoto OTSU¹⁾, Satoru NAKAJIMA¹⁾, Miyuki KIDA¹⁾, Yoshihiro MAEYAMA¹⁾, Nariaki TOITA¹⁾, Norikazu HATANO¹⁾, Nobuaki KAWAMURA¹⁾, Motohiko OKANO, Ryouji KOBAYASHI¹⁾, Osamu TATSUZAWA²⁾, Masafumi ONODERA³⁾, Fabio GANDOTTI⁴⁾, Michael S. HERSHFELD⁵⁾, Yukio SAKIYAMA¹⁾ and Tadashi ARIGA¹⁾

The American Society of Gene Therapy's 8th Annual Meeting, June 2005, St. Louis, USA

¹⁾北海道大学医学部, ²⁾国立成育病センター, ³⁾筑波大学医学部, ⁴⁾米国国立衛生研究所, ⁵⁾デューク大学医学部

○Ku 70 タンパク質細胞内存在様式の動物種差

金江 豊¹⁾, 遠藤大二¹⁾, 福井大祐²⁾, 小菅正夫²⁾, 奥井登代, 川瀬史郎, 林 正信¹⁾

第 2 回北海道実験動物研究会学術集会, 2005 年 7 月, 札幌

¹⁾酪農学園大学獣医学部, ²⁾旭山動物園

○老化促進マウス (SAM) の脳細胞における DNA 損傷の解析

林 正信¹⁾, 永田 仰¹⁾, 遠藤大二¹⁾, 奥井登代

第 20 回老化促進モデルマウス (SAM) 研究協議会, 2005 年 7 月, 東京

¹⁾酪農学園大学獣医学部

○LEC ラット細胞を用いた DNA の 2 本鎖切断修復における microhomology-mediated end-joining の解析

林 正信¹⁾, 赤木倫子¹⁾, 遠藤大二¹⁾, 奥井登代

第 140 回日本中医学会学術集会, 2005 年 9 月, 鹿児島

¹⁾酪農学園大学獣医学部

○小児シェーグレン症候群における抗 α -fodrin 抗体のエピトープ解析

小林一郎¹⁾, SHIARI Reza¹⁾, 戸板成昭¹⁾, 波多野典一¹⁾, 川村信明¹⁾, 岡野素彦, 林 良夫²⁾, 小林邦彦¹⁾, 有賀 正¹⁾

第 15 回日本小児リウマチ学会, 2005 年 10 月, 東京

¹⁾北海道大学医学部, ²⁾徳島大学医学部

○小児シェーグレン症候群における抗 α -fodrin 抗体のエピトープ解析

小林一郎¹⁾, SHIARI Reza¹⁾, 戸板成昭¹⁾, 波多野典一¹⁾, 川村信明¹⁾, 岡野素彦, 林 良夫²⁾, 小林邦彦¹⁾, 有賀 正¹⁾

第 55 回日本アレルギー学会, 2005 年 10 月, 盛岡

¹⁾北海道大学医学部, ²⁾徳島大学医学部

○胃腸炎集団発生事例から検出されたノロウイルスの分子疫学的検討

吉澄志磨, 石田勢津子, 奥井登代

第 53 回日本ウイルス学会学術集会, 2005 年 11 月, 横浜

○ノロウイルスの Mexico 株類似リコンビナント株の国内での検出状況

秋山美穂¹⁾, 愛木智香子¹⁾, 杉枝正明²⁾, 入谷展弘³⁾, 吉澄志磨, 西田知子⁴⁾, 田中俊光⁵⁾, 中込 治⁶⁾, 岡部信彦¹⁾, 西尾 治¹⁾

第 53 回日本ウイルス学会学術集会, 2005 年 11 月, 横浜

¹⁾国立感染症研究所感染症情報センター, ²⁾静岡県環境衛生科学研究所, ³⁾大阪市環境科学研究所, ⁴⁾山口県環境保健研究センター, ⁵⁾千葉市環境保健研究所, ⁶⁾長崎大学医学部

○欧米で流行している G 2/4 変異型ノロウイルスの国内での検出状況

愛木智香子¹⁾, 杉枝正明²⁾, 山下育孝³⁾, 福田伸治⁴⁾, 吉澄志磨, 西田知子⁵⁾, 田中俊光⁶⁾, 岩切 章⁷⁾, 田村 務⁸⁾, 大矢 英紀⁹⁾, 秋山美穂¹⁾, 岡部信彦¹⁾, 西尾 治¹⁾

第 53 回日本ウイルス学会学術集会, 2005 年 11 月, 横浜

¹⁾国立感染症研究所感染症情報センター, ²⁾静岡県環境衛生科学研究所, ³⁾愛媛県衛生環境研究所, ⁴⁾広島県保健環境センター, ⁵⁾山口県環境保健研究センター, ⁶⁾千葉市環境保健研究所, ⁷⁾宮崎県衛生環境研究所, ⁸⁾新潟県保健環境科学研究所, ⁹⁾石川県保健環境センター

○ラット細胞における DNA の 2 本鎖切断修復における microhomology-mediated end-joining と Ku タンパク質の細胞内移行の影響

林 正信¹⁾, 赤木倫子¹⁾, 遠藤大二¹⁾, 奥井登代

第 42 回日本獣医生生化学会, 2006 年 3 月, つくば

¹⁾酪農学園大学獣医学部

生物科学部

○The Japanese Cotton Rat Develops Spontaneously an ECL Cell Derived Gastric Carcinoma

Helge L. WALDUM¹⁾, Shiro KAWASE, Gunnar QVIGSTAD¹⁾, Tom Chr. MARTINSEN¹⁾, Karin E. BAKKELUND¹⁾ and Reidar FOSSMARK¹⁾

6th International Gastric Cancer Congress, May 2005, Yokohama

¹⁾Department of Cancer Research and Molecular Medicine, Norwegian University of Science and Technology, Trondheim, Norway

○Impact of the Rapid HIV Test Introduction in Voluntary HIV Counseling and Testing (VCT) in Japan

Katsumi NAKASE¹⁾, Takako SHIMA²⁾, Mitsunobu IMAI²⁾, Shinichi KUDO, Mitsuo TSUKADA³⁾, Yumiko OMOTO⁴⁾ and Tomoko TACHIBANA⁵⁾

Seventh International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, July 2005, Kobe

¹⁾Okayama City Health Center, ²⁾Kanagawa Prefectural Institute of Public Health, ³⁾Tochigi Prefectural Kennan Public Health and Welfare Center, ⁴⁾Shiga Prefectural Otsu Public Health Center, ⁵⁾National Institute of Public Health

○A Web-based Survey on the Needs of HIV Counseling and Testing Program in Hokkaido (1)

—Difference in Needs by Age—

Seventh International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, July 2005, Kobe

Kaori USAMI¹⁾, Kenzo HIROOKA²⁾, Yuzo MAJIMA¹⁾, Manabu IGARASHI¹⁾, Gino Cuarto MATIBAG¹⁾, Isao MAEKAWA³⁾,